

返したりですぎました。

桃ちやんにはおひる前、何かお話しして下さいと云はれて、南北の対立と南北戦争のところを話してあげました。南部の特殊事情は、此の前、プランテーションで時々話したところですから、南北対立の関係も別に突然の話でなく、精しい始めからの説明なんかしなくても通じるので、大分楽です。リンカーンが政治の表面に浮び上つた理由とか、彼を選んだ共和党の領袖の事情とか、南部のスローガンの説明、それからデモクラシーや自由と云ふ言葉に溺れるアメリカ人の事、大戦時代、これはウエルソンの時の英国の宣伝にウエルソンもアメリカ国民も自由、デモクラシーと云ふ言葉に、内容の追求も究明もなしに引きつられて世界大戦に参加したこととか、あるひは現在の大東亞戦とアメリカ民衆とか、話しました。それから北軍が戦争の目的に奴隷解放と云ふ名目をかかげた時、国内と国外に与へた大きな影響のこと、イギリスには同時にストウ夫人の小説が持ちこまれ、これ又市民に反響あつたこと等々、明確な考へを、徹底した考へを、奴隷制度に対して持つてゐなかつたリンカーンも、彼を動かす圧力、歴史の必然性に押されて、遂に奴隷解放の戦士に至つたこと、一八二〇年に出来たミズーリ協定が、一八五〇年にはどんなプロセスを通つて、憲法違反と云ふ名の下にふみにぢられたか、アポリシヨニストの話、フレデリック・ダグラス、地下鉄組織、ジョンブラウン等々、話しました。

其の間にはカリフォルニアのゴールドラッシュの話とソ聯のゴールドラッシュの話とか、マナサスの「アラン」が南部人から動揺しつアポリシヨニストに至る話とか。大変面白がつて、其の中マナサスを読みたいと云つてゐますから、つい手に風と共によむ様に云ひました。ちゃんと正しい歴史を知つてよめば、二つの本の書き足りぬところも、又、其の叙述の中から真実の姿をもつかめるでせう。此の前プランテーションの話をした時は、「黒い深い河」だとか「笑はぬでもなし」とか、もう一冊何とかをよんでしまつてゐました。

私はあなたの様に問題提起や論理づけは全く出来ませんから、唯相手が関心を起す程度に、其の問題を持ち出すにすぎません。あとは一人でやつてゆくでせう。私は自分の中から新しいものを与へる事が出来ないのです。桃ちやんも工場さんむは相当辛いらしく、とてもく疲れの様ですから、休みの日とか病気の外は本がよめないのです。お話しして、と云ふ時も何か手仕事をし乍らです。

一月廿四日曇、風激し

今日は再建のノオト終り、その後は一気に終りまで読み通しました。これは又すばらしく面白うございました。もつと早くよめばよかつたと思ふが、矢張り中々むづかしいから無理だつたでせう。文章も中々すばらしいし、高潮した感激へ引きずつてゆくところは、普通の歴史と異つて、すばらしい小説に引きずりこまれた時と同じ様な息もつけない感じがします。

ここ暫く毎日来てゐた手紙は今日は来ません。どうしたのでせう。其の代り明朝は来るでせう。

今日は朝の中は春の朝の様に美しく暖かであつたのに、午後から急に曇つて風も強くなりました。お母さんは神風が吹いて敵の飛行機が落ちればいいとか云つてゐます。もう別に書く事もないし、今日はこれでおしまひにしませう。

さようなら

※この一月二三〜二四日に記された手紙文は、一月三日付け、同日消印の封筒中に挿入されていたが、本来は一月二四日付け、二五日消印の封筒にて郵送されたものと推測できる。

幸子から謙一あて（一九四五年一月二五日の記、二七日の消印）

一月廿五日晴

昨日は小包が届きました。相当大きい包なので何だらうと思ひました。あのシートは洗つて修善（修）してお送りするのでせうね。其の中暖い日に致しませう。煙草もおたん生祝の小箱も大変うれしく戴きました。随分きれいな小箱ね。相当高いでせう。あんなきれいなもの貰つた事がないのですから、本当にうれしゆうございました。少（少）さい仁丹入れも随分華奢なものね。あゝ云ふ女らしいようなもの、私は人から貰つた事が今までありません。朝ちゃんは「幸ちゃんは何時でも紙袋のくしやくのまゝハンドバックかポケットからとり出す様な事をしてゐたから、女らしくするためだわ」と云ひましたよ。中味は丁度不二ちゃんがつてゐるからあげようとのことです。はんけち（はん）は目下一寸も入りませんから、しまつておきませう。あのかわいい下駄（下）は、鼻緒を作つて置いて置かうかな、とも思つたのです。だけど男の子ときまつた訳ぢやないから、生れてからにします。生れても二年位は穿けませんね。たわしも後日のためにしまつておきま（ま）す。玉露も本当にうれしかったわ。此のごろ一寸もお茶を買へないので、お客とお父さん丈で、他の者はお湯ばかりで

す。それで不二ちゃんや朝ちゃんやと相談して、二階にしまつておいて時々我々で賞味する事に決りました。八路軍は出して眺めてゐたら、朝ちゃんやが「私それなら持つてゐたのに」と申しました。不二ちゃんもつくづくあの美しい小箱や仁丹入れを眺めて、いいわね、私も年に一ぺん手紙を書いて「菊池さん、一月二十八日は私のおたん生日であります。すこしはおくれても結構です」つて出さうかなと云ひました。何だかわるい様なきがしました。私ばかりね。それで早速煙草をあげました。朝日はまづいから、お父さんへあげ様と云ふ事に決りました。

小包をすつかり始末して落ちついて眺めてゐると、今度はNo. 12、13のお手紙二ツ、本日に昨日はうれしかつたわ。何となくすがすがしい位いき持になつて、手紙を見たり下駄やいろいろいぢつたり、夕方まであそんでゐました。本日に有難う。お母さんも、私（私）やそんなやさしい事して貰つた事がないよ」と羨やましがりました。

今朝考へて、廿八日はふうちゃんのおたん生日だし、何もあげる様なものはないし、あの白いハンケチ、あれを二枚とつて、刺しゅう糸のピンクとブルウでイニシャルをぬ（ぬ）いました。下手だけど、白い布地にピンクでF、ブルウでFとしたら、中々かわいいのが出来ました。それをうまくたたんで香水のあき箱にいれて、赤いリボンでからげたから、とても女らしいプレゼントが出来ました。

私の手紙があなたの一日の晴雨を決定する、と書いてあつて、本当に困りました。それ程の事を考へもしませんでした。本当に私は随分わるい事をして来ました。今後は天気予報の様な変なものにならぬ様に必ず致します。本当に私の固執は悪かつたと思ひますから、どうぞかんべんして下さい。あなたの手紙をみて、私は随分見落してゐる事があつたと思ひました。廿日附の手紙で、本当に芯から私が部分的に物事をとりあげて、拡大したり胡張（こぢ）した事を思ひ知りました。森の写真の木の様に、一ツの木丈が大きく前面に立ちふさがつて、後の沢山の森を構成してゐる木々は、ずつと遠くぼんやりしてしまつてゐた訳でした。あなたから度々云はれた「一寸した一ツ事」丈にこだはると云ふ意味も、又よく解りました。本当にあなたに云ふ通り、始めから私は建設的でなかつた事を思ひ当ります。すぐ、そんならどうでもいいと云ふ風に、破壊的に悲劇的に運ぶところがありました。それと云ふのも、私が思（思）ひ出し度くない様な、自分にも随分と責任のある過去を持つてゐた事に相当のこだはりを持ち、それをどうしても捨てられぬ事にありました。それから年令的な差、これも何時も私を悩まします。私対あなたの二人つ切りの場合は、それに悩まされた事はないのに、私共対世間となると、毎日くそれを嫌と云ふ程味はく（く）されました。隣組でも会社でも、友人の間でも、あなたの家族、親類の場合でも、私の家族の中でも。私にはどう変へる事も出来ない此の事情に、始終いろいろの憶測や噂がついてま

はります。年よりも若く見えるのは若作りのためだとか、若作りをするのは云々と云つた風に。又は何処の誰、それも女房が年上のため、始めはよかつたが、段々年とるにつれ、それは決定的な面白くない原因となつた、とか。その他、思ひ出せない位に嫌な思ひをしました。で、此の事は何時もく致命的に私を傷つけてゐました。そしてあなたに對するひげ目を常を感じさせました。又美しくないこと、これも又、自信のない事の一つです。さう云ふどうする事も出来ぬひげ目の多い事は、常に、どうせ私なんか何時かは……と云ふ心持を底の方に形造つて、動かす事の出来ぬものとなつてゐた様に思はれます。だから二人の間の一寸したゆきちがひが起ると、すぐ私は勝目はないのだわと思つて正當に斗ふ事を避けて、「不安」を其のまゝむき出しの形にして、むいてみせる事になつたらしく思はれます。此の事は私の偏見に左右されること、即ち確固たる信念のなさ、愛情に對する眞の理解の欠除を明白に物語つてゐる事です。即ち、あなたの考へ方、あなたと云ふ人間に對する正當な理解をしようとせず、常に防禦的で主觀的で消極的であつた事の結果です。

貴方は常に口でも態度でも、私の必要を示してくれました。私は相当期間、それを貴方が世間見ずのため、若げの至りで、私しか見られぬから、今は私を求めてゐるのだ、貴方の私に對する誠実も愛情も、あなたの無経験と憶病のためであること思ひ、過渡的一時的のものに見えたのでした。今にあなたが自信と経験を持つた、一人立ちの人間に成長した暁は、此のまゝの形態で続くわけではない、と思つてゐたのでせう（其のころ、はつきりした形で考へた訳ではないようですから）。其の中に一人の生活は何時か、その事をはつきりした意識に登せる様なチャンスなしに（と云ふのは今から考へると、あなたのひたむきな積極的な奴力でさうなつたのです）、安穩にすぎたのです。それは知らぬまに私をして、眞の理解なしに、イージイな安心観（安心観）に落ちこませたのです。悪く極言すれば、「貴方は大丈夫。ピロトオの妻の口ぐせの様に、私のまはりから離れはしない」と云つた風な見くびりだったのでせう。

さうです。だから一切の積極的な建設努力は、私は一度だつてした事はありません。常に受動的で、其の範囲内でオブローモフ的に動きまはり、好きな事を云ひ放つて省みる所ありませんでした。だから内心からの欲求として勉強を求めた事はなかつた訳で、貴方から云はれる毎にうるさい事だと思ひ、何も自分の仕事にまで私を引きこまなくつても、一人でやればよいと思つてゐたのです。あなたの仕事そのものに対してすら、私は考へてゐなかつたのです。仕事は仕事であつた、私共の生活の中心ではない様に思つてゐたのです。其の仕事はあなたの生活、世界觀と切つても切り離す事の出来ぬもの、世界觀努力と仕事は一体である方向へ行つてゐる、其の様な仕事とは思つても見なかつたのです。自分

の仕事に私の興味を引きこもうとする事は、一人ではやれぬから誰か相手を求める、あなたの弱味だ位に思つてゐたのです。あなたの考へ方、あなたの生活方針、あなたの世界観努力、あなたの仕事に対する私の消極性であります。充分見究める努力を一寸もしてゐなかつた事は本当です。それなのに自分では、あなたを全的に知つてゐる、見透しだと思つてゐたのです。それが今度の疎解問題にはいつて、ガラリと思惑と異つてゐたと云ふ事をおぼろげに感じ、そんな筈ないわ”と云ふ心持、元通りの状態（主観的）を希求するイージイさと、すこしは事態を解らうとする態度、その間の矛盾動揺が起りかけて、丁度病氣と、それまで一度も聞いた事のない、あなたの無情なつき放しの言葉とが絡りあつて、さうして去年の七月末からの不安、動揺、自信喪失、疑惑に落ちいつたのでせう。前にも書いた、私の”どうせ私には勝目はない”と云ふ、あの化石観念が再び起き上り、再生、拡大、固定の形をとつたと思はれます。最近だつて、もう解つた、解つたと云ひ乍ら、尚解つてゐなかつたのです。あるひは今だつて、まだくく解つてゐないのではないかとお思ひます。

あなたの仕事はあなたの世界観努力と生活努力の統一にあること、そしてそれを私は積極的に理解し、共に前進するのではなくてはいけない事、其のためには今までの私の考へ方一切を根本的に徹底的に変へる他はありません。結局、今度の私のしつこい、くどいこだはり、泥沼は、今までの私の消極的オブローモフ的局限的な考へ方、生活の総決算であつたのです。本当に自分でも、しつこい、くどい、倦々する位の長期間の破壊的な苦しみ方には、ほとく悲しく情なく、死に度いと何度もくも思ひました。あなたを責め散らし、自分をもてあまし、あなたの創造を妨害し、自分の健康を破壊しました。ですけれど本当にあなたのためゆめ努力と誠実と愛情が、結局私のどろ泥に光を与たへ、遂にそこを越え、新しい勇氣と熱情と生々しさで、再出発させてくれました。今までの私のいごちと化石した心とすてばちを、氷結を溶して下さつたのです。今更乍ら私はあなたの誠実と努力と愛情を、どんなにうれしく思ふでせう。其の嬉しさも、今までのものと質的に異つたうれしさです。あの総決算から出たからこそ、此のうれしい気持は本質的に異つた、もつとく深い内容を伴つたうれしさです。さうして今更私は、あなたの立派さと善さを知り、それもあなたの一日一日の努力が作りあげた、尊いものである事を感じます。あんまりこんな風な事をくどく書くとは嫌味つたらしくなりますから、あなたは私が本当に力がつき、元氣が出て、前よりもつと確実に進める様になつた事を知つて下されば結構です。ゆうべの鼎村の景色の美しいことと云つたら、雪につつまれた山々、森、家、畑の上に輝く月、山の色も森の色もすこしくすんでゐる丈で、うそのように美しい。ブリュウゲルの絵の様な、お伽話の様な妖しいばかりの美しさでありまし

た。冷めたい風の吹く戸外に顔をつき出して眺め、おしみました。

海外電報、早速問ひあはせて見様と思ひます。一寸三〇〇円と云ふと高い様だけれど、一ヶ月25円ですから、^⑧屋賃や食費を考へると、今それを出してゆくのは一寸も高くも無理でもないと思ふし、そんな海外の記事がのるのなら、是非はしいものです。お金の事は結構です。こないだの200円がそのまゝあるから、あと100円足せばいいんですもの。此の手紙と同時に、同盟に紹介してみます。切手を封入しとけばいいでせうね。

とうとう朝からこまで書くのに十二時になりました。窓は明け放しですから、雪の美しい山や、なごやかな明るい青空、美しいくも、雪を被つた屋根が見え、冷い風が吹きこんで来ます。

朝ちやんはもつぱら足袋製造職人になって、もう黄いろいウールのや、紺のやを四足も作りしました。一足はきいろい糸で名前をいれて、不二ちゃんにあげるのだと云つてゐます。

セガンチニのアルプスの山の様に美しい山が見え、陽は輝いてゐるのに、よく見るとヒラ／＼雪がまつて来ます。

私の健康のこと、心配させて本当にすみませんでした、此の前大変よくなつたと書いて以来、めき／＼と恢復して、もう前の心配はほとんど去つたかに見えます。便秘はまだまだですが、これはねる前に30分位、外を暖にして歩く事を実行すれば、便秘もそれから起る頭痛も不眠もよくなると思ひます。おこたにふとんを敷いてから行つてくれば、帰るとすぐに床にはいつて足を暖め乍らねむれるでせう。本当にもう心配しない様に。気持が定まつたためか、とても良くくなりました。元々私のはすぐわるくなるが、すぐよくなる事も早いのです。肥りも早い、やせるのも早いのですから。だから今度は此の調子を失はぬように、積極的に注意する事を約束致します。さうして丈夫ない子を生みたいと思つてゐます。併し子供が生れたら、勉強出来なくなるでせうね。それを思ふと、一寸淋しくなりますが、すこし大きくなると、こちらもせき立てられて、勉強せずにはゐられぬ事です。

昨夜はスメドレーをさつと読み返しました。矢張り面白いところは印度人と交通始まつてからですね。それ以前は又別の面白さがありますが、何と云つてもあまりにも無意識的な行動で、面白いとは云へません。尤も、彼女の生き方の非妥協性、がむしやら、女としてとりあつかはれる事を非常に嫌ふ独立的なところは、それ以前からも出てゐて、この性質が其の後の勉強体験、デンケンからはつきり理論で裏うちされて磨き出されるわけですから、一概に前半を貶す事はいけませんね。偏見やふんいきや、とかく女の負けやすいものに、彼女程負けぬ女はめつたないでせうね。まるで猪の様に突進するではありませんか。印度人の交通後のところを、もう一ぺんたんねんによんでみる必要あると思ひます。

午後になつて、伊藤さんが先日來の約束の、北ソヴイェト紀行 北極の町 ルス・グルーバ著、を送つてくれました。ヘラルド・トリビューンの婦人記者、哲学博士です。始めの二節程よみました。大変面白い本です。およみになつた？ たぶんまだでせう。リトルページとは又変つてゐる。時代も一九三八年でよりもつと後です。三、四年前のものではないかと思ふ。それに記事の中にチヨイ／＼アメリカの女ならではのところもあるし、新しい北極の町、住民の建設的な姿がまざ／＼と出て来る。ロシア人のむきだしの、出し惜しみをせぬたつぶりした愛情や人のよさに充ちてゐて、行つてみたいと□必思はせるものがあります。

廿二日附の方の返事も書き度いと思ひますが、もう今日は手紙ばかりにかかり切つてしまつたので、一応やめて、勉強の方にとりかかります。今日は大車輪でやらなくてはいけない位たまつてゐるのです。夜にうまく時間が出来たら書きませう。

では、さようなら。お餅の小包、ついてゐるといいわね。お味噌とおしょうゆ貰つた相でよかつたのね。小田中さんにも早川さんにも何か送つてあげたいけれど、まああなたのチヨンガ生活をふびんに思つての事でせうから。

さう／＼小田中さんに「学生と歴史」の中の羽仁さんのあれ、よませてあげたらどうかと思つてゐますけれど、きつとお役に立つと思ふわ。あなたもさう思ふなら送ります。あの中では羽仁さんと小此木さんのをよめば充分でせう。

インデラは二卷の方が役立つでせうね。桃ちゃんもインデラをよんでから他の物をよんでみると、前とまるで變つて考へられると云ひ、此の一年の中、何が一番面白かつた、ときいたら即座にネールの歴史と答へました。友達も皆、あゝ云ふのを求めてゐるんだと云つてゐました。

謙一から幸子あて（一九四五年一月二五〜二六日の記）

一月二十五日（木）晴

お手紙No.15（二十二日）、No.16（二十三日）拝受。

大分元氣になつたやうで安心です。だが便秘や下痢を何とかかなほせないののでせうか。うんとよく咀嚼してはどうかしら。いやになるくらい咀嚼したら。吉武君なんかはびつくりするほどゆつくり咀嚼しますよ。あなたの便秘と下痢とは殆どずつとですからね。何とか真剣になほす工夫をして下さい。胃下垂の方は此の頃どうですか。慢性病を沢山もつてゐる

人間は、特に理性と意志とをきたへる必要がある。意志で以て気分や感情の動搖を克服する訓練が必要です。アレルギー症の人は、理性と意志の訓練は最も重要です。所がアレルギー症の人はどうも理性や意志の訓練を嫌ふ傾向があるのでないかしら。何れにせよ、充分注意して下さい。僕のために。

マナサスの批評は面白く拝見。そのくらい丁寧い、徹底的に読んでみることはいいことせう。僕も一回しか読んでないので、あなたの感想でもう一度想ひ返へせます。だがあなたがマナサスを特に丁寧に読んでしたのは、小説としてよりも、あの頃の歴史について書いたものとしてせう。それでいいのです。マナサスはどうも芸術ではありませんから。大体シンクレアは芸術家でなくて説明者ですね。描くのでなくて説明する。シンクレアの人物は現実の生きた人間、個性ではなくて、シンクレアの説明の道具です。その意味でまさしくシラー的です。傾向文学にはこのシラー的なのが多い。之に比べて、やはりゴリキーの母は決定的にすぐれてゐますね。出た時期はほぼ同じだが。例へばバークェルと云ふ人物も、その母も、その他多くの「母」の中の人物は、言葉の本当の意味の典型的性格です。それらはすべて必然的な行動をし、それらの典型が豊富に種々の偏差に於てリアリストイクにあらはされる。事件の経過も必然的です。マナサスでは人物は典型でなくて類型です。南北戦争前の時代を描くには、主人公の選びかたがまちがつてゐる。アランと云ふ人物は南北戦争の本質にとつて歴史の必然性をもつてゐない。南北戦争を本質に於て描くには、もつと別な人物、例へばリンカーンの、ステイヴンス的な（リンカーンでない、ステイヴンスでもない）、さもなくば、まだ「風と共に」の主人公達の方が生きてゐます。アランはシンクレアによつて、この時代の南部と北部とのセンセイショナルな凡ゆる場面を一わたり見て歩く人物として、即ち甚だ都合のいい（よすぎる）旅行者としてこさへあげられた感が深い。実際アランは、此の時代の歴史的場面の総てに立ちあひ、凡ゆる歴史的人物に出会ひます。南部のプランテーションに生れて北部へ勉強に行き、そこでアポリシヨニストになつて北軍側で斗ふと云ふ人間はゐるかも知れません。だが南部の議会やヤンシイの演説に立ち合ふかと思ふとアポリシヨニストの集會に出、ジョン・ブラウンの蜂起に立ち合ふと云ふ風な余りお膳立てのそろひすぎた体験者と云ふものは、必然性に乏しい。凡ゆる歴史的人物と歴史的場面とを一人の人物にむすびつけると云ふやり方が、唐突で必然性がなくて、プリミティヴなのでせう。シンクレアは實際歴史的人物を余りやすつぽく出しすぎます。大ていやすつぽくなつてゐて、歴史的人物そのものの生き生きした、独創的なありかたはまるで感じられない。かくてマナサスは、芸術品としては低俗です。だが南北戦争を一通り知つてゐる人間にとつては、事件の面白さ、歴史的人物の出て来ることの興味で、中々面白く読めます。あなたはさう云ふ読者とし

て読んだので、大変面白く読めたのでせう。

だがシンクレアの南北戦争の歴史的理解も、当時としては進んでゐた方だらうが、決して深くない。アポリシヨニスト達は、後のコムニスト・オルガナイザアみたいにあらはされてゐるが、之はアポリシヨニストの一面でしかない。地下鉄道組織についての劃期的研究たるシーベルトの著書が出たのが一八九二年だが、その「アンダーグラウンドシイルロウド」は、マナサスよりはるかに面白い。歴史叙述としての「アンダーグラウンド」の方が、小説としての「マナサス」より面白いと云ふことは示唆的です。実際奴隷の運動と云ふものが、南北戦争に於て決定的に重要で、アポリシヨニストもそれと連関してこそ、本当に豊富な力強い生き生きした歴史的形象になり得るのでせう。例へばジョン・ブラウン一人をとつてみても、小説よりも面白い。彼は早くから奴隷をその場で解放することを主張する（リンカーンのやうに海外へ植民させるのでなく）。一八五八年にはカンサスの戦ひへ参加し、オサワトミー襲撃をやる。彼はカンサスの戦ひの代表者です。それから彼は、奴隷暴動より外に奴隷制度の解決の手段のないことを知る。彼は奴隷暴動の気配の全南部へのひろがりを感じとつて、之を組織しようと思ふ。そこで彼は奴隷暴動の指導者になり得るやうな優秀な奴隷をみつけ出し、十二人のさう云ふ奴隷を救ひ出して、有名な「ジョン・ブラウンの脱走」をやる。この十二人を彼は組織者にしあげる（彼はもつと多くの組織者を作るべきだつたのだが）。その間奴隷暴動の波はたかまる。そこでいよいよその十二人と自分の一族とをひきいて南部に入り、ハーパース・フェリの武器庫を占領し、全南部の奴隷によびかける。だが奴隷達は直ちには立たない。多くのアポリシヨニストはジョン・ブラウンほど徹底的な考へをもたないので、却つてブラウンに反対する。リー將軍の軍隊が来てブラウンは捕はれ処刑される。ところが翌一八六〇年には全南部に奴隷暴動の波が高まる。ジョン・ブラウンへの応答のやうに。この全南部的奴隷暴動はブラウンを恐怖させ、彼等はアポリシヨニストの北部とつながつてゐる限り、この奴隷暴動を鎮圧し得ざるを感じる。民主主義とのつながりは、彼等の制度の維持を困難にするのである。彼等は自らの制度を維持するためには全然民主主義と遮断されねばならない。

ここから南部の脱退運動が実現するのである（これはこの間の「ダイヤモンド」参照）。

北部人はジョン・ブラウンの蜂起に対して共鳴しなかつた。アポリシヨニスト達すら共鳴せず、却つて批難するのが多かつた。所が南北戦争がはじまつた時、民衆兵士達が進軍の時うたつたのは、外ならぬ「ジョン・ブラウンの唄」だつた。そしてこの兵士達が自発的にうたつた「ジョン・ブラウンの唄」にこそ、南北戦争の真意義が、リンカーンその他のあいまいな態度にも拘らずあらはれてゐたのである。かう云ふジョン・ブラウンの生涯の方が、はるかに密接に南北

戦争と結びついてみて、小説的な面白さも豊富です。

これらについてその中あなたに話す時もあるでせう。何れにせよ、ジョン・ブラウンとサディウス・ステイヴンスとは南北戦争の前と後との最大の個性であり、恐らくアメリカ史の最大の個性でせう。しかもこの二人ほど、特に後者ほど、アメリカ史に於て歪曲されて解かれてゐる人物はないのです。トム・ペーンぐらいでせうね。ペーンもずい分歪曲されたが、之はどちらかと云ふと無神論の故にですが、ステイヴンスの方は彼の黒人への同情の故にです。ステイヴンスは老人（七十才以上）になつてから、ずっと混血の家政婦と二人きりで住んでゐたが、之に対してずい分あくどいデマが流布された。ステイヴンスはそれに対して何にも答へなかつたが、結局ステイヴンスとその黒人寡婦の家政婦との関係は、美しい相互尊敬に結ばれた人間関係（恋愛でも夫婦でもなく、主人と家政婦または友達と云ふ関係）であつたことが認められてゐる。ステイヴンスは一八五一年には有名な奴隷逃亡暴動事件の弁護人として活躍する。それまでも常に逃亡奴隷や貧しい人々の弁護を無料でやつて来たので有名な人物。仏革命のマラーと対比されるほど激しい人物で、七十何才と云ふ老人なのに、再建時代の議會を牛耳つて、極めて急進的な諸立法を成立させた。惜しいことに一八六八年に七十六才で死んだ。南部再建の失敗の原因の一つはステイヴンスが死んだことにも帰せられる。ステイヴンスが死んだ後は、急進派は結束がなくなり、動揺し、結局再建を貫徹出来なかつた。サムナーはニューヨークランド人で、ステイヴンスよりははるかに一般にはよく理解されてゐるが、我々にとつては、やはりステイヴンスの歴史的性格の方が偉大であることを感じる。

僕が将来やりたいことは、ペーンとステイヴンスとジョン・ブラウンの伝記を書くことです。之には日本にゐる材料が手に入らない。

シンクレアはジョン・ブラウンの理解に於て、ピューリタンのな（宗教家的な）常識から余り出てゐない。ラヴジョイの息子か弟か、はちよいと面白い。コフィンには印象乏しい。一般に歴史的人物は、シンクレアに於ては卑俗化されてゐると云ふことは争はれませんか。にも拘らずマナサスは、当時の事件の一応の描写があつて、興味をひかれます。丁ね（原文）に読んで損はありません。

M・E・の芸術論を、早苗ちゃんへの紙芝居とハリガミ等と一緒に送ります。早苗ちゃんのおたん生祝ひに何かさがしておかうと思つたのですが、ついイージーな探しかたしか出来なくて、僕の本でも出た時のことにします。コーヒールはサトウがまだ入らないので、次に「現代史」などと一緒に送ります。小包紙がないのが不便です。

「プランテーション」の講義は、先づみんなに一章乃至数節を読んでおいてもらふ、それを僕が朗読し、必要なことを説明し、あとで質問してもらふ、と云ふ形式をとります。第一回には「プランテーション」の書かれた主観的理由（動機）と客観的理由を説明する予定。主観的理由とは僕があれを書くに到つた動機、客観的理由とはプランテーションそのものの歴史的Ⅱ現在世界史的に問題提起してゐるもの。この二つの統一から出来上つた。

次には「プランテーション」の元題「アメリカ南部のプランテーション制度とアメリカ資本主義」、または副題「米國に於ける前資本制度の問題」の説明。特に「前資本制度」について。ここで人間の歴史の発展段階についての説明。歴史の進み方の説明、進歩（量的發展）と革命（質的發展）との問題、歴史主体Ⅱ民衆、歴史推進力Ⅱ民衆の解放欲求、解放運動の問題。封建制度から資本主義制度への移行の歴史。原蓄のこと。さう云ふ人類史のいかなる時期、いかなる諸力の運動、からプランテーションが生れたか。

大体右のやうなのが本題へ入る前の「序」として説明さるべきでせう。原価計算やりなほして校正刷がまだ来ないために、少々読みにくいだらうが、原稿をまはしてあります。白田君はもう第二章（農業）を全部読んで了つた頃でせう。それからいねちゃんはまだ緒論を全部終つてゐないでせう。いねちゃんから森井さんへ廻つて、この火曜日に小田中さんへ来たらしいが、水曜日にいねちゃんとお田中さんとのひつこしがあつたさうで、来週水曜日から正式にはじめます。尤も此の日曜にいねちゃん、小田中さんにおもちをたべに来るやうに云つておいたから、その時白田君も来れば、「序」だけはやつてしまへるでせう。話した内容については、あなたへも書き送ります。

所でオモチ御送り下さつたさうで、どうも有難う。こちらからはタバコぐらいしか送るものがなくて、タバコはもうあなたに大して魅力でなからうし、あなたを慰さめるやうなものが送れないのが残念です。

一月二十六日（金）晴

朝十時、小包届きました。大変有難う。

僕も之から出しに行きます。

中味のハンカチ箱の中はタバコですが、その中の紙包ミ（トンブク式の）はサッカですから御注意あるやう。之だけでも相当なものです。十数回はコーヒーをのめるでせう。コーヒー一杯に耳カキ二、三杯。コーヒーは灰ふるいか何かでいって、少しこげるくらいにして、木槌で叩いて粉にしなさい。

幸子から謙一あて（一九四五年一月二六日の記、二七日の消印）※

一月二十六日

本日、廿二日附^⑤No.14落手。

あなたの云ふ事、前面的に賛成です。手紙は相手の生活の前進への拍車であること、リクリエーションと生活の苦しみのやわらげになるべきですね。さうあらしめたいものです。

芸術論の方も急ぎませんから、ゆつくり読んで後で結構です。新プランに入るとしても、入った当座はあちらこちら手を伸す余裕は全くないと思はれる。軌道に乗って本格的になつて来たらの事です。ヘーゲル精神現象論の方も同様、一、三ヶ月はシユベグラーとフォアレンダーで、身動き出来ぬでせう。

お金もさう送つてくれなくてもいいです。20円送つて下されば、定期^⑥予金にまはせるし、あとは殆んど使ふ事はありません。西山さんの本のお金もかわせを^⑦組みにゆくのがめんどうだし（と云ふのは髪も櫛をいれたり、オーバーを着たり、顔も洗ふ位の事をしなくては出られないから）、なまで同封してはいけないうし、ですから送つて下さる分からは、さし引いて下さった方がいいです。西山さん向と云つても、何と云つて、いいものがあるかどうかかわからないから、本^⑧当に何でも結構。なにしろ田舎で本屋なんてない、と云つてゐますから。

合衆国史は今日から第四章にはいります。今日は桃ちやんに、再建と米資本主義の発達を、話してあげました。民主党と共和党の発生と、其の相違をきかれましたが、四章にあつた程度の事しか私は知りません。本質的な差はないのでせう。唯、北部をより多く代表したか、南部的であるか位で、民主主義的内容の点では、どちらも何も持つてゐないでせう。唯、南部の民主党第一主義に就いては、プランテーションの時に得たもので説明しました。三章の四資本主義の発達、独占にはいつて来、東欧農業諸国の農村解体、アメリカ移民の辺のところをよんでゐる時、ジャングルのオーナーの家族を思い出しました。あとで一寸のぞいてみ様と思ひます。どうもあれこれとよこ丁へ逸れるので、中々本道は進めません。

あの白い紙の便箋は、もう終りになりました。随分早く使つたでせう。もうすこし貰へると都合だけど、無理だつたらしいのです。便箋も封筒も売つてなくて困りますね。西山さんなんか、昔伊東屋にあつた様な四角の桃いろのいい紙

の二重封筒で、手紙をよこします。

ここまで書くうち、又々桃ちやんからいろいろ質問あつて、とう／＼知つてゐる限りの話をしてしまひました。ユニオン・パシフィックの映画の話だの、終にはブーア戦争へとんでしまつて、オランダの歴史(但し知つてゐる丈)、セシルローズ、オームクリューゲル、遂には鈴木さんのセシル・ローズと南アフリカを持ち出して来る、と云ふところまで来てしまつて、とう／＼書けませんでした。これも又、勉強のうちですわね。私、もつと三、四人相手がほしいと思ふわ。さうすれば多に勉強して、多に熱心に喋るんだけれど。だけど人に話すと云ふのは、実は自分のためのものね。私は時々桃ちやんに、結局私は桃ちやんを舞台にしてゐるのかも知れないと云ふ事があります。話してゐるととてもはつきり自分でもわかつて来ます。だから『教へてあげてなんかあるんぢやなくて、一諸に勉強してゐる□ね』と、結局は話し合ひます。丁度桃ちやんは風邪引きで、これで四日位ねてゐます。南部の話をしてゐる時、朝ちやんは「武器は教養、知識だわ。鉄ぼうも権力もうばはれても、知と云ふ無形の武器を持つ事は、最後まで徹底的に斗へることなんだわ。おお、無知こそ罪悪なり」と牧師の様に云ふので、三人とも大笑ひしましたが、これは本当ね。あの昔にフィレンツェの詩人は、既にそれを知つてゐたんですね。今日も予定のノオト、勉強はおくれましたが、しようがない。夜は一応合衆国史をストップして、たまつてゐるものを片つけませう。短い手紙ですみませんが、長いぐち手紙より、かんべんして下されるでせう。原稿は進捗しましたか。うまく進む様に。私は大はり切りですから安心して下さい。

幸子

質問 合衆国第三章ノ四 アメリカ資本主義の発達

p. 65 一二行目「資本の「民主」政治を腐敗せしめ」この意味どう解釈するのせう。

p. 65 終から七行目「意味深き象徴の年」これは労働運動の労働組合、政党運動への発展と、支那人苦力排斥に人種偏見を煽つて転化させた事が……民主主義アメリカの帝国主義化の予表……の意味でか、わかりませんか。

p. 68 四の終り、しかるに……ユージンデブスに対して、反トラスト法は発動されてゐた。
ママも意味がわからない。

※この一月二六日付け、二七日消印の封筒中には、一月二八日朝に記した手紙文が挿入されていた。他方で一月二八日付け、同日消印の封筒

中には、二六日記の手紙文が挿入されていた。両者は封筒と中身の用箋とが、何らかの事情により相互に入れかわったのであろう。ここでは中身の用箋を元どおり差し替える形で翻刻・掲載した。

幸子から謙一あて（一九四五年一月二七日の記、二八日の消印）※

※この封筒中には、A・スメドレーの自伝『女ひとり大地を行く』について、その要約・抜き書き・感想を、細かな字で六ページにわたって記した、幸子の読書ノート風の手紙が挿入されていたが、その掲載は省略した。

謙一から幸子あて（一九四五年一月二七〜二八日の記）

一月二十七日（土）晴

昨二十六日にも書いたのですが、お手紙もなかつたし、大して書くこともなかつたので、破いて了いました。それに今日の空襲のあとなので、開封されるでせうから、つまらないことしか書いてないものをわざ／＼出す気がなくなつたのです。内容は僕が水責め火責めに会ひはじめたと云ふことなのです。水責めと云ふのは、濁水と近隣の鉛管破裂の頻出とで水道の水が出なくなつて、御苦労にも井戸水を汲んで来なければなりません。この井戸はどうやら浅いらしくて、それほど温水でもありません。火責めとは、水責め同様、火の無い責めなのです。一家で石炭をすつかり箱づめにして持つて行つて了つたので、調査会差しまわしの質のよくない亜炭しかなくなりました。まだ当分火が必要なのに、これでは少々弱ります。

一家と云ふのは実に意地悪で、何でもこの間、下の小使婆さんと、石炭を使ったことについて喧嘩したのださうですが、空襲の時のI夫人の醜態以来小使さんが彼等をなめて了つてゐるので、大分強気に出たらしい。「誰でも他処さんでは月給払つて留守番をおいておくのですから、そんな大切なものなら、留守番をおおきになつたらいかですか。私共は調査会のもは番をいたしますが、お宅のものまで手がまはりません」とか何とか。所がI夫人と云ふのは近隣に鳴りひびく吝嗇で、さう云はれてぐつとつまつて了つたのださうです。それから数日経つて、また御殿場から出て来たと思ふと、主人公と誰か若い（と云つても四十前後の）左官か大工のやうなのと二人がかりで、石炭箱へ石炭をつめ込んで、

近日中とりに来るからと云つて（多分軍か何かのトラックで）物置きにしまひこんで了つたのです。「あそこをこちあげてやりませうよ」と小使さんは残念がつてゐました。いや之は小使さんだけでなく、僕にとつても重大問題です。炭の配給は九月以来二俵しかないし、近く来るのは薪ださうですから。

そんなことをもう少しくわしく書いただけの手紙だつたから破いて書きなほすわけです。僕もあとでその話をきいて、真向からケンカをしてみようかなと、もう少しで会見を申し込む所だつたのですが、そのためのいろんな理くつを考へることが面^{めん}づくさくなつたし、相手が不愉快極まる人種なので、勝つても負けてもあとで不愉快になるにちがひないからよしました。何しろケンカと云つても私有権行使とケンカをするわけで、勢ひ時局を笠に着る必要があります、それは余り気持のいいことでない。

お送り下さつたもの、大変おいしくいただいてゐます。雑炊に入れてたべるのが一番食べであります。いねちゃん、小田中さん等は日曜に来るでせう。そしたら雑煮を作るつもりです。若し彼女達が日曜日に来ないと、水曜の「プランテーション」講義までもつかどうか保障出来ません。と云ふのは、竹中君と云ふ四六時中腹の満足しない大供が、丁度僕が小包を作り終り、そこへあなただけが届いて、そこから一面ちらかしたままほく／＼と開いてゐた所へ現はれ、「あつ、運がいいねえ」とさつそく無理往生のお相伴です。無理往生とはいへ、彼も僕には頼りない乍ら数少い「弟子」の一人であり、また銀行家でもありませんからね。「だけど、いいんかい。君の朝飯なんだらう」「朝飯なんかとつくの昔に食つちやつた。之は朝飯後のおやつだ、まあおあがり」「そいぢや。すまんなあ」と遠慮がちだから可愛いこともある。

さて今日廿七日。伊藤君の所へ現代史をとりに行きました。一時頃までに行く約束で、少しおくれて経堂のホームまでつくと、サイレンです。これはしまつた、彼は一時までまつて来ないので帰らうとしてゐる所へこのサイレンだから、きつと引きあげるだらう。彼が成城駅まで着くのと、僕の電車が成城へつくとどつちが早いのだが、行きちがひになつたら本屋でもさがさう、とかう思つて行つたのですが、果して駅からちよつと行つた所で پاک／＼パイプをふかし乍らやつてくる彼と出会つて、彼は逆もどりで。彼の所、即ち北条君の家で、彼の所の御大たる土屋喬雄先生の悪口を二人でさんざん云つて、「学者俗物の現代的典型だね」と云ふ結論に至つた頃、空襲警報です。ラジオがないのでわからないが、雲の上で飛行機のとびかふ音、機関銃の音まできこえるから、大分低空でやつてゐるのでせう。

「こないだ山羊を殺して料理してやつたんだよ、人に頼まれてね」「ふうん」「やせた山羊でね、普通なら十二、三貫の目方で四貫匁以上のいい肉と、脂が洗面器に山盛り一杯、肝臓なんか臓腑の一部がくへるから、まあ半分は食へるんで

ね、実は君の所へもつていこ思てたんだがね、そいつは一貫七百しか肉がとれんで、脂が全然なかつたんだ。売ることにきめてからエサやらなんだからしい。肉は牛肉よりずつとうまいしね、皮もいいけど、労力奉仕は引きあはなんだよ」「それはおしかつたな。君は妙なかくし芸をもつてるんだね」「うん。皮のさかきは高分技術が要るよ。どつかに山羊ないかな。此の頃エサに困つて売りたがつてる筈やがね」「味をしめたと云ふより、しめ足りんかつたわけか」。

そんな話をしてゐる最中、京橋、銀座の繁華街へバクダンが落ちてゐたのです。僕もよく栄養らしいものを補給に昼頃銀座へちよくく出てゐたから、今日なども出ないとは限らなかつた。通行人が大分死傷したさうですから、僕も、命拾ひしたと思つてゐる東京中の大勢の人間の一人に数へられるかも知れない。

警報がとけて経堂へ帰つたら、二階からはるか東の方に黒煙濛々と上つてゐるのが見えました。之が京橋やら銀座だつたのです。昨夜も三回空襲があつたが、月夜の空襲はもう定石のやうになりました。

「笑はぬでもなし」はゴリーキーの「幼年時代」を想ひ出させるさうですね。松浦君（此の間来た学生）がさう云ふので、ぢや一つ僕も幼年時代を読んでみようと思つてゐます。「黒人の息子」の裁判の部分には、ドストエフスキーの「カラマーゾフの兄弟」の三巻、四巻を思はせるものがある。所がカラマーゾフでは意味なき絢爛にすぎないものが、「黒人の息子」では実に鋭い現実の根抵（根）への肉薄になつてゐる。その内容上の現実性だけでなく、「黒人の息子」のあのテンポは、映画的なものです。それにしてもアメリカの黒人文学が、ロシア文学の影響を吸収してゐると云ふことは実に示唆的です。ロシアの雇役農（オトラボキ）とアメリカの黒人クローパーは、歴史的に同じ意味をもつてゐるし、何れも一八六一年（農奴解放）、一八六五年（アメリカ黒人解放）の結果、その歴史的制約をなしてゐる。アメリカの奴隷制度はロシアの農奴制度と一番近い類似をもつ。だから「復活」がアメリカのことに触れ、L（原文）さんがアメリカの農業の奴隷制遺制について書いたのでせう。

桃ちゃんの学校生活も本当に辛くて不幸のやうですね。あなたがよく元気づけ、慰さめてあげなさい。その若さを澆刺たる生の謳歌へ、いかやうの形にもしる解放したいのに、時局は若い人に苛酷すぎます。若さを疲労させすぎます。日本の再建に必要な若さを。そして桃ちゃんもまた欲求してゐるのです。いかなるものかわからぬながら、とにかく真実なるものを欲求してゐるのでせう。

「アメリカ史」をとう（たうとう）く読了してくれましたか。本当にありがたう。あれは五十冊もあつた抜きずりの殆どを人に進

呈したのに、本当に読んでくれた人は恐らく半分もないかも知れない。その中でもあなた程度に感想を云つてくれた人は外にありません。面白いとか何とか云つてくれても、どう面白いのか、一向具体的には云つてくれません。あれはたった二週間の、若干非良心的な早や書き原稿で、僕も余りいい出来とは思はず、それほど人に感想を求めなかつたのだ。今井先生の名で書いた「米國史」は、林健太郎君などが「力作だ」とほめてくれてゐたさうですが、之もどう力作なのかくわしくはきかない。

大体今迄僕の書いたものは、余り人から感想をきけない。羽仁さんは僕の「ミケランジェロ書評」を力作だとほめてくれ、今井先生は卒論を「近來の第一等の出来」だと云ひ、「筆力」と「純情」とをほめてくれ、東大春秋へのせた詩は北山氏、北条氏から大いにほめられ、北山氏は「中野重治氏に送つたらどうか」と云つてくれ、と云ふ風に、僕もほめられないわけではないが、実を云ふともつと大勢から認められほめられたのです。僕等はやつぱり本當の理解者からほめられることによつて、次の仕事へのエネルギーを得るのですから。殊に羽仁さんや今井さんや北山氏の言葉は、僕に大きい力づけになつて来てゐます。ところが肝腎のあなたからは、やつと「プランテーション」から感想がきけるやうになつたのですからね。だがおそくても、やつぱりうれしい。

伊藤君から借りて来た「現代史」は、僕が先きに読んでから送りますがいいですか。急いで読みます。

一月二十八日(日) 快晴

今日は水が全然出なくて、井戸水です。所がその井戸水を小使婆さんがくめないで、ぼくは二軒分汲みました。尤も汲み方を教へたから一回きりですが。

廿五日付お手紙拝受。小包を大変喜んでくれて、僕もうれしく思ひました。不二ちゃん、あさちゃん、桃ちゃんにも送りたいとは無論思つたのですが、あなたの元気がないことが何より気になつてゐたし、それに会計の方も困難になつて来たので、僕の本でも出た時のことにと延期したのです。それでまあタバコとお茶とコーヒーとを、みんなで一緒にと思つたのです。お茶は玉露なら時々買へさうです。ふところに余いのある時買つておきませう。

今日のお手紙で、あなたの数ヶ月にわたつた精神の内向循環も、意義をもつて来たかと断定出来ませう。僕ももう安心出来ます。此後とも身体と精神との健康をはかつて下さい。

今ラジオで「昨日外出したまま帰宅しなかつた人があつたら、すぐ最寄りの交番に届け出るやうに」と云つてゐます。

ぼつ／＼案じてゐたやうな事態へは入つて来たのを感じます。それにつけてもあなたの疎開はよかつたぢやありませんか。あなたが疎開したればこそ、僕もここへ住み込めたのだし。いねちゃんはまだ練馬へ行つてゐるから大丈夫だと思ひます。

大分昨日の空襲がひどかつたやうですから、心配させないために、此の手紙も早く出させよう。今竹中君がやつて来て、昨日の空襲の状況をはなしてくれました。彼は本室にゐたのです。銀座、日比谷、京橋の方は大分ひどいやうです。だが書かないでおきませう。その中わかつてくるでせうから。では之だけで出します。

幸子から謙一あて（一九四五年一月二八日朝の記、同日の消印）※

昨日はまる一日、女一人にかかりました。其の感想を書いてしまつたら、もう随分くたびれてゐたので、あとさきの手紙もつけず、それ丈お送りしました。夜、床の中で方方書き足りないところもある事に気がついたし、最後ではもう一歩先へ伸すべきであつた事、彼女の考へと行動は、あなたをよく云ふ世界観努力と倫理努力への統一への努力ではないか、とか考へたのでした。でもあとのめぐくりは、あなたがつけてくれると思つたので、続を書く程の力もない、考へもそこまでゆけないまゝに、一応あれで終りにします。

此の二、三日の寒いこと、手も凍る様です。東京の朝夕もさうでせう。昨日のひる（二十七日）の空襲は、近來の大きかりの様ですが如何でしたか。此の頃は慣れつこになつてしまつてゐましたが、七、八十機と云ふと、又一寸シヨックをうけます。このごろは静岡方面から北上中と云つても、この辺には機影も爆音もみえません。矢張り姿も見えず、音もしないと、警報が出てゐても安心です。

私の身体は目に見えて恢復してゐます。お姉さん肥つた、と桃ちゃんに云はれましたし、食事も嫌だと思はないし、顔色もとても良くなりましたから安心して下さい。これでもうすこし暖になつたら、身だしなみも良くして、ちゃんとするつもりです。あんまり寒いので、北向の鏡台のある部屋に一寸でも座る気になれませんので。

みつちゃんは一月末に来るとかでしたが、来るとも伸すとも止めたとも云つて来ません。寒いし混むから一応とりやめたんでせうね。東海道線はまだ不通だし、信越も雪のため始終不通で、東西の連絡は中央線一ツだ相ですから、其の混

雑も今までの殺人的なあれ以上の事です。これは先日、浦和にゐる朝ちゃんの友人が、疎解（解）の交渉に来た時寄つたのできゝました。第一、切符も前より大変なんでせうから。

あなたも、そんな訳で前の様にかん単に考へて、やつて来るつもりでも駄目（目）でせうと思ふわ。男一人なら私の思ふ程ではないかも知れないけど。来て下されば、いろいろ話もしたいし楽しみだけれど、其の混雑、苦勞、寒さを考へると、是非来て下さいとは云へません。それに何もおいしいものもないし、お母さんは寒さのために怒つてばかりゐるから、此の頃の家の中と来たら、実に詰らないものです。ふうちゃんも、あつちゃんも、桃ちゃんも、始終お母さんの事でふまんのべない日はありません。配給のものについても隣組の義務についても、一、一する事が昔の自己本位で責任感はないし、年中食物の不足、炭のこと、商人の不親切を楽しみにしてゐると思ふ程、ぐちゃら小言やらで、誰かそばへゆけば、まつてゐたと云ふ風にセキを切つて小言がとんで来るんですから、皆、君子あやうきにて逃げ歩いてゐます。さう云ふ訳ですから、来て下さいと云へないんです。自分の家がほしいと、よく皆で云ひ合つてゐます。だから危険でも、喧嘩しても、原宿の家が恋しくなるんです。手まはりの荷物丈持つて東京へ出て、間借りでもいいから住み度いとも思ひます。でも、それは本当に時たま思ふ事ですから、気にかけてぬ様に。今はし様がないから、その辺の事はあきらめて、自分の好きな事の出来る時間は仕事や勉強に没頭しますから、ちゃんとうまくおぎなつてゐる訳です。朝ちゃんは風越館と云ふ逃げ場があるし、桃ちゃんは学校、不二ちゃんは病気でない限りは薬局へこもるのです。勿論私は二階の炬燵を一城と見て、駆けつけると云ふ次第です。

今朝は早苗がおばアちゃんを馬鹿にしたからと云ふのが因で、ふうちゃんの病気が長いのはだらしのないせい（②）で、早苗一人もろくく見られん様な親ぢや私がゐなかつたら一体どうするんだ、私を当にしてのろくくとねて小説ばかり読んでゐる、私らは若い時は一人で三人も四人もの子を見て来たんだ、お父さんは勝手な事をして子供が一寸泣いても、やかましいと云つて怒つたんだと云つて、早苗をたくし早苗は泣きわめく。それが一応おさまると、朝ちゃんが足袋を作つて不二子になんぞやつたのはけしからん、病院を休んで自分でこしらへればいい、小説がよみたいから病キだと云つて病院を休んでゐる位なら、足袋位自分でこしらへればいいと云ふので、朝ちゃんは「沢山作つたから不自由してゐる人にあげたんだもの、人がやつたものに文句つける事はないぢやありませんか。不二ちゃん丈にあげたのぢやなくて、桃ちゃんにも早苗にも幸ちゃんにもあげたし、お母さんには二足作つてあげると云ふのに、手縫の足袋なんかはけん」と云つてほうり出したのはお母さん丈ですよ。其のくせ、ないないとわめき立てるのはお母さん一人でせう。自分が不

自由しなきやいいんだ。人のものまで作る事はない。”そんな勝手な事つてないわ。私が私の布で、私の労力で作ったものは、誰にあげ様と、よろこんでくれる人に勝手にあげるのよ。そんな事まで干渉されないわ。”親に向つて対等の口をきくな。さつさと風越館へ行つてしまへ。此の家で足袋なんか作るな”
かう云ふ調子よ。

朝ちやんはさつさと自分の用をするし、ふうちやんは早苗をつれて自分の部屋に引きこもる。私も逃げて来ようと思つたけど、又ぞろ、あとあと二時間もキャン／＼云ふことだからと、そのまゝ座つてゐると、何とか彼とか一寸もすじの通らない事を三十分も云つたあげく、き持がわるいと云つてねてしまひました。誰も下にゐないと困るし、私一人お勝手でウロ／＼と云ふ次第。

こんな事書いても全く馬鹿げてゐますが、大体毎日こんな風なんです。人のする事は皆まちがつてゐて、自分の思ふ通りにならぬとすぐにヒステリイを起して、私たち丈でなくお父さんにも看護婦さんにも馬鹿げた事を怒り立てるから、恥かしい思をします。そしてそれ丈でなく、お世辞やのばアさん連に一人一人にペチャ／＼洗ひざらひ喋りまくり、娘の不足、看護の不平等々さんさんきいて貰つたあげく、ふとん布だとかきものだとか食料とかを呉れてやつてゐます。お母さんの風むき始^{編訳}第で、家中はどうでもなるんですわ。私はもう一言も積極的には話をしません。ハイ、いいえ位。それが一番ぶなんです。

従つて赤ん坊の事も、前に一寸話しましたが、お前の様な貧弱な奴に子供なんか出来ん、まちがひだ、わかりもしない事をふいちようするな、と云ふ丈できいてくれませんから、一寸も何も其の後は話してありません。お父さんには時たま一寸きいて見てゐますけれど。で、三月になつて五ヶ月になつたら、西沢医院へ行つて正式に見てもらひます。今のところお父さんは、身体が弱つてゐるから注射をしるか、何を服用しろと云ふ程度で、積極的な方法は申しません。もうすこし様子を見てからとも云つてゐました。併し、もう目まいもむくみも、心□^{編訳}の変なもの、食慾不振もなをつたから、このまゝにして置かうと思ひます。お母さんがそんな風だし、いろんな事一切はお母さんの許可がいるわけですから、何でもやりにくいのです。自分の家でも持つてゐる方が人手がなくて、随分いろんな点合理的にゆくのでせうが、今はそんな事はわがまゝですわね。身体が恢復して来ましたから、もうあまり心配せんでもいいし、なるようにほうつておきませう。三月に見て貰つて安心ゆく様なら、それから何とか支度します。

先達中、本当に苦しくてねてゐる時もお母さんは、東京で勝手きまゝをしてゐたからだらしがなくつて、一寸しても弱

音を吹くと云つて怒つてばかりみたんです。それで、私はどこにゐても邪まな人間だと思はれて来て、情なくなりまして。で、弁解してみるけれど、あなたも又、私をさう思つてゐたしと思へて来て、淋しいような悲しい様なきでウツ／＼としたあげく、あんな手紙を書いてしまつたのでせう。あとになつてはすまなかつたと思ひましたけれど、あの当時はさう云ふ考へ方から抜けられず、いろいろねてゐて考へると、本当に自分から自分の存在を否定したくなつて来ました。こんな事を書いてゐると、又あの頃の気持がそのまま出て来て嫌になりますから止めませう。あなたも不愉快だつたでせう。すみませんでした。

あなたの御手紙は22日No.14が最後で、あときません。では又、あとで書きませう。これからおひるの支度にゆきますから。

廿八日 あさ

幸子

※この一月二八日朝に記された手紙文は、一月二六日付け、二七日消印の封筒中に挿入されていたが、本来は一月二八日付け、同日消印の封筒にて郵送されたものと推測できる。

幸子から謙一あて（一九四五年一月二八日の記・消印）

一月二十八日

唯今（前十一時）24日附No.15落手。お湯が湧いたから青いポットにたつぷりいれて持つて来たところ、あなたの心づくしの玉露をいれて楽しみつつ、ゆつくり読みませう。本当に私はあなたの手紙で生きてゐる様なものですわ。まあ云つて見れば、天のマンナ（？）だと思つて味ひ楽しみ、精気を養つてゐます。本当よ。郵便は何時も内玄関の方へ配達されますから、内玄関のベルには実に敏感です。今日はごまみそをすつたり、竹下へ走つたりしてゐたので、あまり注意してゐなかつたので、何時来たか知りませんでした。

とう／＼風邪を引きましたね。皆はな風邪から本式の熱の出るのへ進んでゐます。早く注意してなをすこと。はな風邪の時は足を暖める事が第一、それから出来たら部屋に湯気を立てて、はなの粘膜を保護する事、早く暖にしてゐること、ねる前に暖いもの（茶、コーヒー、なんでも）を服用すること、位の注意でいいのです。マスクも必要、温度の変化に

粘膜（カゼの時の）はすぐ反応するから。

引用文の事（主としてリトルページ）、私はよく空では覚えてゐなくても、あなたの云つた事が頭に這入つてゐたんだと思ひます。だから自分でも自然、さう云ふ点に注意が向いて行つたのだと思ふ。だから同じ様なことを云つたのでせうね。あなたの話、すぐは解らなくつても五、六年後にはちやんと生きて出て来るんでせう。私は充分、あなたから栄養を吸ひとつて来たんですね。五、六年づつ私があなたにおくれて進んでゐる事の見本ね。すぐ反応しないと人に話す時詰らないけれど、考へて見ると、雨が土に沁みこむ様に自然に沁みこんだものは、おそくてもそれなりの味のついた水として、湧き出して来るのでせうね。穴をほつて水を流しこむと、どろとまぎつて汚い水になつてしまふでせう。むりに機械的のみにこもつとするのは一寸無理なのね。これは尤も時と場合にもよるので、一概に云へません。ですから結局まだくゝ私の考へ方は、独自のものは一つもなく、皆あなたの亜流です。細川と云ふ人の論文の事は聞いた様ですが、内容の事は一寸も知りませんでした。

あなたの仕事は小此木さんが引きつぐ事に（さう云ふときは）なつたのですね。ではさう云ふ時はアメリカ史の方の勉強は小此木さんに指導して貰へる訳ですね。

本の読み方についていろいろほめて下さるが、まだ私は前述の様に私の独自の味などないのです。唯前よりも、すこし多量に本の中から滋養を捕へる様になれた位のところです。新年度のプランにかかつたら、其のつもりで一生^⑧果命やりませう。あなたの賞めて下さる様な人間の資質とか集中とか感受性とかは胡張^⑨です。努力はするけど、それも甚だむらがあるし、感受性に至つては甚だ鈍いと思つてゐます。これはけんそんではない。日常の生活でも読書でも映画の場合も、私は外の人よりその鈍い事を知つてゐます。外の人云つた事、感じた事で刺戟されて、ようく考へると云ふ事が始終あります。自分一個の利害には敏感だけれど、其の外の世界の事には至つて不敏感であることは、今までの私の生活が証明してゐます。精神の動きに至つては、些細な点では動く、飛ぶ様に動く事はたしかですが、根本の点になると、動いた事はない様です。だから私は創造型の、自分からふれてゆく溢れてゆく型ではなくて、媒介型よく云へば努力して、ついてゆく型だと思ひます。で、仰^⑩言^⑪る如く世界観の把握に誠実に努力してゆきませう。

お豆の事は朝ちやんがどこか当つてくれる相です。家に貰ふものは一寸私の方へ貰ひにくいから、朝ちやんにたのみました。フーチャンも何とか云ふ人の家に、病キがなをつたら交渉してみようと云つて呉れました。家ではお母さんは無^⑫いゝと口癖に云つてますが、実はごまでもくるみでも高野豆ふでも、豆も椎茸もするめも肉も始終這入つて来るので

すが、一寸も計画的に使はず、人に呉れたり、変なときにどつと一度にある中は使ふと云ふ馬鹿な方針なので、何時もないくと泣き言を云つてゐるんです。ポテトもさつまいもも大根、にんぢんに至るまで、一俵位づつ貰ふのに、お世辞婆アさんに流れる方が多い。朝から晩まで、それを責め立てる様に使ふから、三日位でなくなりします。卵も20個位ちよいとくはいるのに、朝ひる夜、おぢいちゃん②と早苗、それから客で二日位でなくしてしまふ。たまには一個づつ皆に朝食についたら、なんて云はうものなら大変、私の経済は私の勝手にする、と云ふんですもの。

先日の小箱や仁丹入れ、凄く高いものね。もつたないから今後はもうあゝ云ふものは結構です。本当にもつたない位のものね。仁丹入れは愛用してゐます。仁丹つて、もううつてゐないのね。東京にあつたら買つといて下さいませんか。それから安香水もすこし買つて下さい。なくなると思ひます。それとも、もうないかしら。私もロシア人みたいに香水スキーよ。どんなのでもとでもくすき。香水をつけてゐると心がなごむのです。では、うすい手紙ですが、又晩かくかも知れません。さよなら。

あなたの此の頃の手紙、悲劇の序幕を思はせる様なところがあつて、一寸恐くなる。今後はもう時代が二人の一諸③の生活をさせまいだらうとか、其の時はとか、仕事の引つぎを小此木氏に渡す相談とか。それは考へて置かなくてはならぬ事だけれど、私は暗示にかかり易い様なところがあるから恐い。私の生き方にはあなたが是非とも必要で、あなたなしにはとてもともまだ一人歩きは出来ない現状です。何も彼もあなたに負つてゐるんだから。スメドレーの様に強く歩いてはゆけ相もない。どれ程あなたは大きな杖であつたかわからない。唯はなればなれの暮なら幾年でも我慢出来るけれど、兵隊の最悪の場合を考へると、私は脅えてしまひます。あなたなしにやつてゆける程の内容がないし、自信もない。唯、地理的な距離なら耐へてゆけます。私丈があなたを失ふ、と云ふ点で、恐いのぢやありません。あなたでなくつては出来ない仕事を、途中で切られ終らされる事がこわいのです。それを小此木さんが引きついでとしても、それは矢張りちがふのです。私はどんなにあなたにキタイしてゐるか、今になつてはつきり知ります。此の上はどんなに私の暮し方が辛からうとも、どんなに長く別の暮らしをつづけ様とも、それはかまはない。唯あなたさへ、生きて生き抜いてくれる外はありません。私の出来る丈は、私はあなたの勉強を、考へ方を吸収して、早く私自身であなたと一体のものを作りあげる外はありません。私は今、唯、目茶苦茶に悲しくなります。去年の夏、アメリカ史に専心しようと決心した時は、盲へびで、あなたの後を引きついでゆける様に思つたが、とても今は其の力のとても及ばぬことを知つてゐますも

の。いさましい決心を語れません。

謙一から幸子あて（一九四五年一月二九日の記）

一月二十九日（月）晴

昨日は待つてゐたいねちゃん達が来ず、竹中君だけ来て夕方になつて了ひました。竹中君は一昨日の夜、本室で宿直だったので、昨日の朝、帰る途中寄つていろく〜と様子を伝えてくれたわけです。夕方いねちゃんから電話がかかつて、経堂へ行くつもりだったのが、来てゐた利ちやんが盲腸で医者呼んで診てもらつて、とにかく今寐てゐる始末なのだと云つて来ました。公衆電話らしく（向日荘には電話がありません）くわしく聞けませんでしたが、行かざるを得ないので、丁度起しかけてゐた火へ、昼つくつてあつた雑煮をかけてあためて、調査会の袋へ別のお餅をつめて出かけました。入院させたりいろいろのことを予想して、若干辟易しつつ行つたのですが、幸ひ鎮痛剤と氷とで目下おさまつており、一日安静にして寐ておれと云はれた程度で、いねちゃんの部屋に寐てゐました。いねちゃんには重々御迷惑をかけたことをあやまつて、利ちやんには火曜日（あ）に井福さんとこへ連れて行く約束をしました。三度目ださうで、別に理由は思ひ当らんさうですから、慢性疲労からでも来たのでせう。井福さんでどこか外科を紹介してもらつて、手術してしませう。一ヶ月は休まないといけないよと云つたらびつくりして、進級のことを心配してゐました。二週間ぐらいで学校へ行けると思つてゐたらしい。所が現在の学校とは市電で一時間近くゆられて通ふ浜松町の工場なんですから、それに近頃の栄養状態などを考へると、いくら若くても一ヶ月では無理かもしれませんね。

一昨日銀座を通つて帰つたが、銀座がひどくやられてゐるので、いねちゃんが安全だつたかどうかと、日曜の朝早く、と云つても十時頃、向日荘へ来たのださうです。それでおひるごはんを食べて、間もなく盲腸の痛みが発したので。一晩いねちゃんの所へとめてもらつて、今日の朝、アパートへ帰つた筈です。変でもあれば電話をくれる筈ですが、今迄の所何とも云つてこないから、とにかく無事に帰つたのでせう。もうじきこちらからアパートへ電話してみようつもりです。昨夜の中に入院や手術やら、と考へてゐたのが、とにかく安静に寐てゐればいいと云ふだけなので、僕はすぐ帰りました。起しつばなしの火が心配でもあつたので。

月がすてきで、敵でなくてもこんな夜、飛行機で日本列島上空を散歩したい気になりさうです。果して昨夜も三回空襲

がありました。

今日はお手紙が来なかつた。

僕は昨日から現代史を読んでゐます。バルザックとはまるで肌合ひのちがふ感じでありながら、バルザック的です。第四巻はまだ出てゐないのださうですね。その第四巻こそ問題なのに。本田さんにきいてみて、白水社に残品があつたら、買つてもらはうかなと思つてゐます。アナトール・フランスのいろんな議論は面白いけれど、やつぱりバルザックのやうなダイナミックなドラマの展開に比べて、力が弱いのをいかんとも出来ない。これも時代の差と資質の差との相乗なのでせう。実際バルザックの中の議論は、どれもこれもガムシヤならぬ猛烈ですが、A・フランスの中の議論は、やはり書齋人のシニズムを脱し得ない。バルザックの諸人物が歴史的運動の中の諸人物であり、従つてその議論も猛烈だつたが、A・フランスの時代のインテリ(小説内の人物)は歴史的運動の外に脱落してゐて、だからこそその議論もシニカルな調子をもたざるを得ないのでせう。併し恐らくフランス第三共和制と云ふものを描いた最高の文学でせうね、「現代史」は。フランス第三共和制だけでなく、日本の現代などについても相当切実な批判です。早く読んでアンソニー・アドヴァースの続きと一緒に送りませう。第一巻(現代史)は白水社の全集があるのでですか。送るのは二巻、三巻でいいのですか。

今僕はヘーゲルを読んでゐます。之はあなたの読む時は相当解説が要るかなと思ひます。ヘーゲルの前に哲学史やM・Eのもの(「フォイエルバッハ論」「ドイツ・イデ」「芸術論」)等を読んでおけばいいでせう。ヘーゲルやM・Eのものを読めばきつと僕の文章をわかりにくいとは云はなくなるかも知れません。

今日はまだ三時ですが、もう分室中で僕一人になつて了ひました。早く火を起して、早く食事をすませて、早く寐ようかと思ひます。まだ当分続く月夜の間中は、夜中に危険な散歩者に起されるでせうからね。昨夜なども、三度目になるとラジオのスキッチをひねつたきりで、あと覚えがないくらいです。

あなたの身体はどうですか。あなたへお金を送らうと思つたのですが、為替も小包も混んでゐて並ばねばならないし、私用に女の人を頼むことはひかえてゐるので、つい送りそびれて了ひました。来月分と一緒に送ることにします。貯金の方、困つたでせうが、御ゆるし下さい。

では今日は之だけ。今 Margaret Leech と云ふ人の *Reveille in Washington* を読んでゐます。

幸子から謙一あて（一九四五年一月二九日の記、三〇日の消印）

一月廿九日

No.16 一月廿六日附御手紙唯今落手。シンクレアの注意事項、どうも有難う。シンクレアの人物が説明の道具である点、歴史上の偉大な人物を俗化する点、本当だと思ひます。実は第一部をあれ位でいねいに読んだら、もうあとは嫌になつたので、やめてしまひました。入用なところ又吸収出来たと思つたので。シーベルトの著書とかは日本語ののではないのでせう。是非読み度いものです。ジョン・ブラウンの事は、シンクレアは狂信者サヴオナローに近い人にしてしまつてゐますから、あの場面は美さい二度読む気は起りませんね。一番最初、五、六年前読んだ時は、混血のニグロの脱走事件が一番生々しい記憶となり、強い印象を残したのですが、二度目、三度目はあの辺はつまらない部分に属する。ラヴジョイはあの脱走に出て来るところが一番感銘あつて、あとはそれ程の事はありません。で、マナサスは今度はあれ丈でやめました。貴方が将来、ペーン、ステイヴンスとジョンブラウンを書き度いと云ふ心持は、私にもすこし解ります。

午後に小包みが来ました。今度は早かつたですね。手紙と一語（巻）に来たんですもの。どうせあと一週間は届くまいと思つてゐました。いろいろ有難う。ちようど一月廿九、早苗のペースデイに届きました。彼女は午後から熱で目が赤くところとして、総毛立つた顔つきでハッハッと息をしてお炬燵にゐました。早苗ちゃん、熱があるからねねませう、と云つても嫌くくと云つて動かず、何となくきげんわるくしてゐるところへ来ましたので、いいものをおぢちゃんが送つてよこしたの。病氣の時はお薬服んでいいことになったらあげますつて”と云つたら、よろこんで薬を服んで、あひるの引越を枕元に置いてねむつてしまひました。横にするやいなやグツタリして、すぐ深い息をし乍らねました。大人達の風邪がうつつたんです。ふうちゃんもとても申訳ながつて、お礼を云つてゐました。お母さんは子供の様に、早苗のねたるずに、一寸紙芝居してくんなどせびつてゐましたが、ふうちゃんに駄目く〜今度く〜とこと（巻）はられました。紙芝居はお母さんと早苗が大よろこびなのよ。

M・E芸術論、私もつと異つたていきいの本を思つてゐました。割に安つばいさうていすね。これからチヨイく〜ねる前などによむつもりです。飴でもなめる様にゆつくりと。哲学、あれはフアレンダーの次にいれるものです。何れ、

これもその中の部です。アンソニーは第一部しか買へないの？あと三部は買へ相もないの？一部丈ぢや詰らないのね。皆そろはなくつちや、あとがぢれつたくてたまらないから、すぐよめませんね。

煙草も沢山有難う。お父さんの煙草箱に1²詰めて来ました。一度にあげると駄目ですからね。

伊藤さんからA・フランスの事を書いた、ゆ快な手紙が来ました。A・フランスの他に北極紀行の事だの、バリー島の青年の話などあります。目下お父さんは私の次にA・フランスに凝つてゐます。白き石は未来の世界に於て非常に感激したらしく、前にこれと同様(?)の事を考へた事があつたが云々と盛に喋つたりしてゐます。併し、お父さんはA・フランスをどの程度理解したかを、私は一寸疑つてはゐますけれど。で一応、新一氏の手紙も煙草と一諸に置いて来ました。あれを見て、ジエロームコワニヤール師やタイースやベンギンを刺戟されるかも知れないからと思つて。

コーヒイもサツカリンも、貴重なものを本当に有難う。コーヒイ！どんなに夢にまで憶れたでせう。本当にうれしいわ。夜、桃ちやんが帰つたらさつそく作つて、お父さん、ふうちやんをシヨータイするつもりです。どうも有難う。厚くお礼申上げます。小包紙と豆は近日送れるでせう。コールドクリームの瓶も。

昨夜から今日の午前中は阿片戦争と大平天国の乱を一寸調(?)べました。第四章で入用ですからね。書きぬきも作つたし、時間をとつた割につまらぬ事しか出来なかつたけど、今は此の程度にふれる丈でいいでせう。

何だかあれもこれも調べたり考へたり書いたりせねばならず、時間が不足でく本当に困ります。そしてすぐ頭が疲れて、引き続き進行しませんの。書く事も随分つかれます。抜書を沢山すると手も肩も疲れて、もう書くのが大へんにうるさく思へて、遂此のごろ、あなたへの手紙も短いものになります。もつとエネルギーをほしいです。わかふらびんやらいなり丸やらヴィタ注射をしてゐますが、あまりいいガソリンにならぬらしい。ぢれつたい位あれこれとよみたい事がたまつて出て来ます。アメリカ史のノオトも早くとつてしまひたいし、その後でもう一度プランテーションの読み返しをしたいし、本当にいそがしいんです。次のプランのものへも食指はムズムズですし。

桃ちやんやあつちやんたちとも喋る事はうんとあるし、本当にいそがしいですよ。まるで私がどんなに勉強家であるかと宣伝してゐるみたいですね。みたいぢやなくつて、本当は宣伝です。私にとつては、あなたに宣伝する事は約束にもなるし、又自分をもとてシゲキします。皆とのプランテーションの講義は、中々いいプランでやるんですね。羨やましいわ。私は一人で苦しむ乍らやつたんです。だから余分な労力や損失をうんとした割に、把めてゐないのぢやないかと疑つてゐますから。丁度よくある独学の人の欠かん、ドクマ、あんなものが附随してやしないかと思つて心配して

みますから。

さうさう、昨夜曰田さんが私に石けんをくれた夢をみました。一個半位の長いのを封筒に入れて。あゝうれしいと思つてゐると、もう二ツフットウがあるので、手にとると大金さんと内藤さんからも来てゐました。そこはアパートの様なところで、私は病きでねてゐるのです。あなたも一諸にゐる筈だけど、たいていよその部屋へはいりこんでゐて、私のところにはゐないのです。始めはものを貰つてよろこんでゐたのに、終りはがっかりしてゐる様な夢で、目がさめたら涙が出てゐて嫌になつた。私はあなたをどうせ帰らぬ人と思つて、あきらめてゐるのかしら。森ちゃんは四〇キロもなくなつて、40度の熱がまたつづいてゐるとのこと。陸軍病院では一度も診てくれない、水枕さへ用意してくれぬと云つて来ました。食事も麦飯と梅干丈だ相です。軍隊の病院はもつと親切かと思つてゐたら案外ね。

ラモーの甥は此の前いらした時、おもちになつたわね。伊藤さんが入用だと云つてゐましたから、其の様にして下さい。

生きてゆく事は淋しい事です。暗くて冷めたくて風のふく路をゆく様な気がします。夢中で勉強く、その他の生き方は私にはないんだと思つて、其の方向へ駆け出しますが、どうかするとむしように淋しく悲くなつて来ます。これはわるい傾向だと思ひますが、時たま、ふつとさう云ふ感じに襲はれて、其のあげくには狂暴に近い心理で、一切を目茶苦茶にたたきこほしたい、人を殺ろしたい様なき持に追ひこまれる時もあります。ヒステリイなのね。そのあげく死に度い様なきがするんです。人類を信じず、歴史の正道から落伍した者だからでせうか。私はこのごろ本当に、人よりも自分が一寸も信じられませんの。誰か救つてくれないかしら。ジェローム・コワニヤール師なら何と云つてくれるでせう。私は何を求めてゐるのでせうね。何か欲してゐるのですわ。与へられぬものを求めてゐるのでせうか。何か何か、其の中にすつぽりと頭を埋めて、安心と信頼と慰めを与られたいのでせうか。

こんな手紙を書いて、又叱られるでせうね。さう思ふと、—あなたにさへもきばつてゐなくちやいけないのかと思へて悲しくなつて来ます。私は本当に心細い。淋しい。病気のうさぎの様に頼りない。不安なのです。こんな事を書いてゐたら鼻血が出て来た。のぼせたのでせうね。今日はこれでさようなら。

小田中さんから今手紙が来ました。短い、併しあの人らしい(?) かわいい手紙です。とてもはな血ひどいのでこれだけやめ。

謙一から幸子あて（一九四五年一月三〇日の記）

一月三十日（火）晴

昨日迄のやうな一徹なきびしいほどの青空でなく、うす雲もかかつてぼんやりした晴ですが、風もなく日ざしもやはらかくいい日です。人の声ものどかにひびき、時々遠くまたは近くひびいて来る飛行機の爆音も脅かすやうな調子をもつてゐない。

今日はお手紙三通受取りました。廿六日、廿七日、廿八日（No. 18、19、20）。まづ順番にしたがつて。

廿六日のお手紙で、アメリカ史の三章の四で「ジャングル」のオーナ一家を思ひ出して、のぞいてみたく感じつつ「どうも、あれこれとよこ丁へ逸れるので、中々本道は進めません」とあるが、実は僕はさう云ふ風の一つ一つの問題で立ちどまつて、芸術品や映画を思ひ出してほしいのです。僕もあれを書きながら、さう云ふものを想ひ出してゐるのです。だから短いソッケない文章でも、僕自身書く時の感情は、映画や小説で昂奮させられた熱情を含んでゐるのです。そして読者から、さう云ふ著者の感情をも理解され、著者と共感してくれることを欲求してゐるのです。さうしてこそ映画や小説も生きて来る。いはば個別的偶然的（読者にとつて）に提出された小説や映画が、歴史的普遍（普遍）の中で正當な聯繫の下に位置づけられ、そのことによつて映画や小説をより深く鑑賞し味解し、また歴史そのものをより深く、より生き生きと理解することになるのです。併し余り一つ一つの辻で横丁へ入り込んでゐると、縦の線の普遍が獲得出来ないから、一応ずつと通史は通読した方がいい。そして二度目にゆつくりあちらこちら（あちら）のシヨウ・ウインドウをのどきこんで行く方がいい。とにかく一通りずつとおしまひまで読み通さないと、一つ一つの章なり節なりの比重なり何なりがわからなく、後になつて生きて来るやうな歴史的潜在意義などを、理解せずに過ぎてしまふことになる。

朝ちゃんの知識と武器とを結びつけた言葉は同感です。だが知識は「無形」であつて外の武器をすつかり奪はれて後までも、最後まで反抗の要具となると云ふ意味で尊い武器なのではないでせうね。知識は大衆のものとなり、大衆の正しい歴史的行動を惹き起すことによつてこそ武器なのだから。何れにせよ、いつかも書いたかと思ひますが、知ること、学問は歴史の武器であるべきです。事実、我々の享受し得る知識は、何千年來の人類と現代の二十億の人間とが血をながして斗ふ（闘）ことから直接つくられきたらへられたもので、従つて知識なり学問なりは、歴史のもの、大衆のものです。

だのに知識的特権階級人は、知識を自分が得て来たもの、自分だけのもの、いや自分の特権的地位の保障だと思つてゐる。公器を私物視し、逆に自分の排他的利益を防衛すること、自分もおちこぼれにあづかる社会の不正を防衛すること、に使つてゐる。歴史のもの、歴史が天才と民衆との血をながしてつくり出してあたへてくれた武器を、歴史の逆行に、歴史の不幸に、歴史の眩下に使つてゐる。ところが歴史自身、民衆自身は自分のものを正当に要求する。黒人達の「教育」へのあのやみがたき欲求、自分達をおとしめてゐる不正を自分達で解決したいと云ふ欲求から出た知識慾のやうに。だからこそ知識的特権階級人は憎むべき、いとふべきなのです。

所であなたの質問への答。

P 65、二行「資本の民主政治を腐敗せしめ」は文字通り資本の集中独占が、資本主義政治を腐敗させると云ふことです。民主政治がいつの間にか、独占王達の金権政治になつて了ひ、流職や買収やが流行するのです。再建の終り頃、グラント將軍の大統領時代は、政治の腐敗で有名です。タマニーホール事件なんかはその最大のもので、グラント時代の政府高官の流職（年表参照）は、前大戦後のハーディング時代と双壁（連）です。

意味深き象徴とは、南部の再建の挫折、労働争議激発、支那人問題等です。之等はアメリカ資本主義政治が「国内改革の方向」から「帝国主義」への転化をはつきり予兆してゐる。しかも政治的なさう云ふあらはれが資本の集中、独占化の直接の帰結であることも実にはつきりしてゐる、さう云ふ風な意味です。

P 68、シャーマン反トラスト法とは、合衆国の産業・通商（州際）の自由な発達を阻害するやうな独占団体の組織を禁じたものです。之は独占資本の弊害に対するアメリカ民衆の反抗、反トラスト運動の成果であつた。所がそれは、一八九四年のシカゴ・ストに於てデブス等に発動され、デブス等は投獄された。どんな風に適用されたかと云ふと、ストライキをやる労働組合は、合衆国の通商及び産業の自由な発達を阻害する独占団体だと云ふのです。いはば国民のたたかひの成果である法律が、金権政治によつて逆に国民を圧迫する武器にされる。「この所は「プランテーション」の第四章（南部の政治）の終りあたりに、南部の黒人の選挙権剥奪の法律の成立（ポピュリズム運動の「成果」(?)）」と結びつけて書いた筈です」。資本主義政治の露骨な矛盾を示すために、ここへかいたのです。

どうも短い文章へ多くの内容を盛りうとして説明不足が多いやうです。何のことかわからずに読みすごされてゐることです。多くの読者に。外にも質問があつたら、どんく書いて下さい。それにしてもシャーマン反トラスト法の例などにも、「歴史」と云ふもの、支配者と被支配者との対抗、その成果と逆用等々の歴史のダイアレクティブがうかがは